

Page	CONTENTS	
	【特集】 『国際家族にとっての環境問題』	
3	● 娘はプラモンやっつけ隊！ 小さな変革から大きな社会が動くかもしれないと信じて活動	山下 牧（会員）
7	● 「気候危機」の年に、アメリカ東海外から 海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。	清 麻桐（会員）
15	● ドイツのゴミ選別の実情とエネルギー政策 ソーラーパネル設置、電気自動車購入支援、公共チャージステーション設置急ピッチ	トルン紀美子（会員）
20	● 国際家族 = 地球家族としての環境活動 西荻窪を震源地に、これからもっと仲間を増やして運動を続けていきたい。	ブランシャール明日香（非会員）
24	<small>かみかつ</small> ● 上勝のゼロ・ウェストセンター視察 小さい町だからこそ実践できた環境問題解決方法をレポートします！	湯浅佳代（会員）
30	Culture Crossing 『ヘルシンキ 生活の練習』自著紹介	朴 沙羅（会員）
31	イベント報告	イベント係
32	編集後記 次号予告	会報係

※表紙は「こどものアトリエ」（山下牧さん主宰）の子どもたちが描いた絵をデザイナーmomodesignさんがレイアウトしてくださいました。地球をきれいなまま子どもたちに手渡したいという気持ちをこめています。

娘はプラモンやっつけ隊！

小さな変革から大きな社会が動くかもしれないと信じて活動

山下 牧（会員）東京在住

仕事と学生時代とで米国西海岸に8年ほど暮らし、現在は東京でカナダ人の夫、娘との3人暮らし。子どものためのアートとクラフトの教室「こどものアトリエ」主宰。地域で環境問題やまちづくりに関心が高い仲間たちと出会い、プラスチック包装なしで買い物ができる「量り売りの店・野の」の立ち上げにも参加し微力ながら活動中。

「私も動物や地球をプラスチックから守る！」

ちょうど1年前の冬、6才だった娘はプラスチックが自然界に与える影響を、映画や本で知り「私も動物や地球をプラスチックから守る！」と宣言して自分にできることを探し始めました。そこにいとこ2人（6才と10才）が加わって、プラスチックモンスターをやっつけたい子ども達「プラモンやっつけ隊」の活動がスタートしました。

子ども達がまず始めたのは公園や道路のゴミ拾いでした。専用トングを持って外へ出ると、タバコの吸い殻、空き缶、お弁当やおにぎりの包装、その他沢山のゴミがポイ捨てされており、大きなゴミ袋はあっという間にいっぱいになることに毎回驚かされました。町内でイベントがあると、娘はプラ問題関連の本を並べ「みんなで頑張りよう」と書いた段ボール紙をテーブルに置いて座り始め、それを見た地域の人達もプラモンやっつけ隊を応援してくれるようになりました。



ペットボトルにNO！

毎月1回、近くの公園でプラスチックを使わない「プラモンやっつけ隊ノープラカフェ」を開催。手作りレモネードと水出し麦茶をガラス瓶に入れて、無料で振る舞います。



[プラスチックモンスターをやっつけよう！きみが地球のためにできること](#)／高田秀重 クリハラタカシノ クレヨンハウス編集部 | 絵本のギフト通販【クレヨンハウス】(crayonhouse.co.jp)

娘はプラモンやっつけ隊！

小さな変革から大きな社会が動くかもしれないと信じて活動

山下 牧（会員）東京在住

その他、ゴミ処理施設の見学、海岸でのマイクロプラスチック採取、生分解性プラスチックの実験やその他関連セミナーや映画など、毎週末のようにプラスチックに関する活動に参加実践する日々となりました。毎日の生活の中でもプラスチックを極力避け、蜜蠟ラップや固形シャンプー、歯磨き粉を手作りし、台所のスポンジはへちまに代わり、お弁当のおにぎりは庭の葉ランで包んで、トイレトペーパーの芯で手作りした紙ストローを使っていた時には夫と苦笑いをしました。

子ども達の未来への危機感～大人にももっと意識を変えて行動して欲しい！



[プラモンやっつけ隊活動報告 2021.09.23 みたか市民活動NPOフォーラム - YouTube](#)

2021年9月地元三鷹で開かれた「みたか市民活動・NPOフォーラム」での活動報告会に招かれ、それまでに学んだことを発表する機会を得ました。地元の小さなイベントとはいえ子ども達にとっては人生初の大舞台。

何度も練習を重ね、当日の会場で自分達の順番が回ってくる直前まで原稿に修正を加えていました。プラスチックが環境や生物、人間に与える影響、驚くような場所や目的で使われているプラスチックの紹介、プラスチックを避けるためにできることの提案などを述べました。そして最後に、気候変動に歯止めが利かなくなるまでの残り時間は少なく、自分達の未来への危機感と、大人にももっと意識を変えて行動して欲しいと訴えました。

その報告会では唯一の子どもの発表でしたが、多くの方々が3人に称賛のお声を掛けて下さいました。自分達の言葉を大人に真剣に受け止めてもらうという体験をしたことで、この活動に対する本人達の意識もまた変化したように感じられました。そしてこれをきっかけに活動がさらに広がっていきま

娘はプラモンやっつけ隊！

小さな変革から大きな社会が動くかもしれないと信じて活動

山下 牧（会員）東京在住

11月、地元のエコマルシェに「どんどん作って、どんどん捨てる、地球がどんどん苦しくなる」のスローガンを掲げて大量生産大量消費への警鐘をテーマに参加。12月、地球温暖化防止を訴えるイベント「イルミネーションRE100@Mitaka」で未来への願いの言葉を述べました。

そして2022年3月には、地元の町会が市の助成を受けてプラモンやっつけ隊の応援という形でのエコイベントを開催することが決まり、今はそれに向けた準備に取り掛かっています。



本当のプラゴミでプラモンの町を作って展示し、大人達には今日から実践すると約束するプラゴミ対策を書いて貼ってもらいました。
（みたか市民活動・NPOフォーラム）

12月「イルミネーションRE100@Mitaka」の会場で未来への願いを述べる3人。

娘はプラモンやっつけ隊！

小さな変革から大きな社会が動くかもしれないと信じて活動

山下 牧（会員）東京在住

温暖化対策に消極的だった国に与える不名誉な『化石賞』～未来を直視していきたい。

プラモンやっつけ隊の活動に伴走することで、私自身も多くを学び、環境への意識が大きく変わり危機感を抱くようになりました。細かく砕けたプラスチック片は今や水道水や空気中にも存在し、人間への健康被害の深刻さも報告されています。私が暮らす東京では生鮮食品をはじめ店頭に並ぶほぼ全ての物がプラ包装されており、避けたくても避けられないプラスチックに支配された社会となっています。そのリサイクル率は極めて低く、東南アジアなどへ輸出される廃プラはその国の人々の生活や環境を脅かし、気候や生態系など地球全体を破壊に導いています。

COP 26で『化石賞』 [Fossil of the Day at #COP26 - 02 November 2021 - Norway, Japan and Australia - YouTube](#) を受けるようなこの国で、一個人が動いたところで社会を変えるなど不可能だと暗澹たる気持ちになりますが、この問題を自分達の未来に関わる重要なこととして活動する子ども達を前にし、ただ無力でいるわけにはいきません。私も地域の仲間達と共に学び、実践し、小さな地域での小さな変革から大きな社会が動くかもしれないと信じて活動していきたいと考えています。

それが「プラモンやっつけ隊」に対する私の責任だと感じており、これからも子ども達と共に未来を見つめていきたいと思っています。



「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から 海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

清 麻桐（会員）アメリカ在住

留学先のマサチューセッツ州の大学院で出会ったアメリカ人の夫と2002年に結婚。オハイオ州で博士研究員を経験した後、ペンシルベニア州フィラデルフィア近郊に移住。2010年からフィラデルフィア自然科学アカデミーに勤務。2018年に国立自然史博物館に転職。専門は無脊椎動物学・分子生物学。家族は夫と犬一頭。

ゲリラ豪雨、トルネードによる甚大な被害—将来浸水は1日おきに発生するとの予測が！

2008年からペンシルベニア州フィラデルフィア近郊に住んでいます。この地方は中部大西洋岸地方に属し、温暖湿潤で四季があり、夏は蒸し暑いところです。水不足とは無縁ですが、気候変動の影響で大西洋ではハリケーンが発生しやすくなり、いわゆるゲリラ豪雨や東海岸には珍しいとされてきたトルネード（竜巻）も増えています。気温が上がると大気中の水蒸気も増えるため、暴風が弱まっても雨だけで被害甚大となることがあります。2021年9月初めには[ハリケーン・アイダ](#)がフィラデルフィア、ニュージャージー、ニューヨーク市を直撃し、フィラデルフィアではスクールキル川や高速道路が氾濫しました。家から5キロくらいのところにトルネードのタッチダウンがありましたが、幸い我が家の上を飛び越えていってくれました。ニューヨーク市では地下鉄が浸水し、地下室を間借りして住んでいた住民11人が避難できず溺れて亡くなるという痛ましい事態になりました。沿岸部や川沿いの地域では、豪雨と高潮が重なって浸水するリスクが高まっています。



私の勤務するスミソニアン博物館やホワイトハウスのあるワシントンDCのザ・モールという地区もポトマック川のすぐ近くなので浸水リスクの高い地域に入ります。[海洋大気庁（NOAA）の2018年の報告書](#)によると、温暖化ガスの排出量が抑制されても、2100年までには高潮に伴う浸水が1日おきに起こると予想されています。

Photo:2021年9月、ハリケーン・アイダに伴う降水によって浸水したフィラデルフィア中心部のハイウェイ。カイリー・クーパー撮影

「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から
海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

清 麻桐（会員）アメリカ在住

弱者への環境不正義の是正～温暖化ガス排出抑制、再生エネルギーへの投資促進する画期的な法案「**Build Back Better Act**」はどうなる？

米国の前政権は2019年にパリ協定から離脱し、気候変動や環境保護、公衆衛生よりも短期的な企業の利潤を重んじる姿勢に終始しました。2021年1月に発足したバイデン政権はパリ協定への復帰を表明し、気候変動抑制においてリーダーシップを発揮する意欲を見せています。米国の温室効果ガス排出量は中国に次いで世界第2位です。しかし、欧州ほど優秀ではないにしても、過去10年で米国の温室効果ガスの排出は確実に減ってきています。



COP26が目標とする、産業革命以前を基準値とした平均気温の上昇を摂氏1.5度以内に抑えるためには、米国は2030年までに温室効果ガスを2005年の排出量の半分まで削減する必要がありますが、現在何もしなくても23%は減ると推定されています。

11月15日に大統領が署名して発効したインフラ投資・雇用法は気候変動に対しインフラを強化する予算を470億ドル計上しています。11月19日に下院を通過し、12月中旬現在も上院で討議中の「より良い復興法案（**Build Back Better Act**）」には、これまでインフラ整備の際にマイノリティや貧困層に押し付けられがちだった環境不正義を是正しながら、温暖化ガス排出を抑制し再生可能エネルギーへの投資を促進する画期的な法制が含まれていますが、上院の半数を占める共和党議員が全員反対しているので民主党議員が全員賛成票を投じなければ可決できず、石炭産業の盛んなウェストヴァージニア州選出の中道派議員の賛成を取りつけるための妥協案を探る議論が延々と続いていて、一体いつになったら可決できるのか、それとも上院を通れなくて法案が死んでしまうのか、私はもう何ヶ月もヤキモキが止まりません。

「より良い復興法案」が可決されれば、企業や家庭が電気自動車やソーラーパネルなど、再生可能なエネルギーをもっと利用しやすくなるような経済的インセンティブが増え、温室効果ガスの排出規制に弾みがつくと期待しています。

「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から
海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

清 麻桐（会員）アメリカ在住

地球温暖化は誰のせい？ 国民は気候変動が実生活に影響を及ぼしていると実感！

イェール大学の環境コミュニケーションプログラムの調査によると、2014年に「地球温暖化は人為的に起こされているか」という質問に「はい」と答えた米国民は48%で、18の州で過半数の住民が「はい」と答えました。

2020年には、同じ質問にはいと答えた回答者は57%に増え、なんと46の州で過半数が「はい」と答え、「いいえ」が過半数だった残りの4州は化石燃料を多く産出する州で占められていました。2020年の大統領選でバイデン氏が勝った州では平均59%、トランプ氏が勝った州では平均53%の州民が人間の活動が地球温暖化を起こしていると答えており、気候変動に対する国民の意見に政治が影響していることを表しています。

驚くことに、「気候変動が実際に生活に影響を及ぼしている」と答えた国民が過半数を占めたのはカリフォルニア州とハワイ州だけでした。カリフォルニア州では慢性的な早魃と大規模な森林火災、ハワイ州では海面上昇が最も深刻に受けとめられているようです。2022年同じ調査をしたら、気候変動が生活に影響を及ぼしていると答える国民の数は他の州でも増えるのではないかと思います。

自治体によって違う市民生活におけるリサイクル事情

アメリカの環境に対する取り組みは、ヨーロッパや日本と比べると残念ながら遅れています。また、州や自治体によって比較的進んでいるところとそうでないところがあります。私の住んでいる自治体では、週一度同じ日にリサイクルできないゴミとリサイクルできる資源ゴミが回収されます。両方とも専用の容器に入れて道路のそばに置いておくと、個別の収集員が朝に来て回収してくれます。

資源ゴミは、ビニール袋と発泡スチロール以外は、紙も金属もプラスチックも一括して回収されます。リサイクルできないゴミはゴミ埋め立て地に運ばれます。アメリカは国土が広いので埋め立てる場所には困らないのです。ビニール袋を一緒にリサイクルできないのは機械で仕分けをする際に紙と混ざってしまうせいで、スーパーマーケットに持って行ってビニール袋回収用の箱に入れればリサイクルすることができます。

「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から 海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

清 麻桐（会員）アメリカ在住



Photo: ボトル回収機、別名逆自動販売機 (reverse vending machine)

前に住んでいたマサチューセッツ州では飲み物の瓶と缶をスーパーマーケットなどに併設されている回収機に投入すると、一つにつき5セントのデポジットが返ってくるようになっていました。

オハイオ州シンシナティ近くのアパートに住んでいた時は、普通のゴミはいつでもダンプスター（鉄製の大型ゴミ容器）に入れればよかったのですが、資源ゴミの回収がなかったため、自分で資源ゴミのリサイクル施設まで運んでいました。

プラスチックは種類によって1から7の番号がついていて、1番と5番以外はリサイクルしていない自治体や法人もあります。一回使ったら穴が開くような薄いビニール袋を有料にして、再利用できる買い物袋の使用を促す自治体が増えてきています。落ち葉や刈った芝、クリスマスが終わっていらなくなったクリスマスツリーは回収して堆肥にされます。家庭の生ゴミを回収して堆肥にしてくれる自治体もあります。

1 PET	2 HDPE	3 PVC	4 LDPE	5 PP	6 PS	OTHER
POLYETHYLENE TEREPHTHALATE	HIGH-DENSITY POLYETHYLENE	POLYVINYL CHLORIDE	LOW-DENSITY POLYETHYLENE	POLYPROPYLENE	POLYSTYRENE	OTHER
WATER BOTTLES; JARS; CAPS	SHAMPOO BOTTLES; GROCERY BAGS	CLEANING PRODUCTS; SHEETINGS	BREAD BAGS; PLASTIC FILMS	YOGURT CUPS; STRAWS; HANGERS	TAKE-AWAY AND HARD PACKAGING; TOYS	BABY BOTTLES; NYLON; CDS

リサイクルできるプラスチックの種類。プラスチック容器には7種類のうちどれかのリサイクルマークがついていて、マークを見て普通ゴミに入れるか、リサイクルするか決めます。

ソーラーパネルの設置が普及、我が家も断熱材対策

アメリカの太陽エネルギー工業協会 (SEIA) によると、ソーラーパネル設置にかかる費用は過去5年間で36%下がり、太陽エネルギー産業は急速に成長しています。

「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から 海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

清 麻桐（会員）アメリカ在住

現在1890万世帯がソーラーパネルを設置済みで、太陽発電は総発電量の2%を占めています。2030年までには全米で全世帯の13.4%がソーラーパネルを設置していると予測されています。太陽エネルギー利用で群を抜いているのはカリフォルニア州で南の州が上位に入っていますが、北東部の3州（ニューヨーク、ニュージャージー、マサチューセッツ）が上位10位以内にくいこんでいるのが目を引きます。[ペンシルベニア州](#)は石炭やシェールガスなど化石燃料資源が豊富なせいか、再生可能エネルギーの利用は全体の4%にとどまっています。

我が家は1949年に建てられた物件で、家を買った時に依頼した住宅診断士による点検で断熱材があまり入っていないことが指摘されました。灯油を燃やして温めた水をパイプで床に通す床暖房なので、今までの所有者は冬にエネルギー効率が悪い家で化石燃料をぼんぼん燃やしても全然平気だったわけです。省エネ対策として、入居してすぐに家の壁に内側から穴を開けて中に断熱材を吹き込みました。おかげで隣の家よりも屋根の雪が溶けにくいのがちょっと自慢です。将来的には化石燃料を使わなくて済むようになればもっといいのですが。

入居してすぐの頃はなるべく乾燥機を使わないようにしていたのですが、自然乾燥の洗濯物は夫にあまり人気がなく、いちいち洗ったものを外に干しに行くのが面倒になってやめてしまいました。見た目が貧乏くさいから嫌だという理由で夫に物干し台の設置を反対されたのにはびっくりしました。



Photo:フィラデルフィア郊外の住宅の上に倒れたオークの大木。

家の前庭にはオークの大木が立っています。木は大気中の二酸化炭素を取り込むし、夏は木陰を作るので気に入っているのですが、家に向かって少し傾いていること、過去2年間に近所の同じ大きさのオークが2本倒れて電線が切れたり屋根が潰れたりしたことから、可哀想だけれど来年春に伐ってしまっ代わりに倒れにくい木を植える予定です。

[中部大西洋岸地方では集中豪雨が原因で樹齢80～120年のオークの根が腐って枯れるようになった](#)そうで、近所のオークが倒れたのもひょっとしたら気候変動と関係があるのかも知れません。

「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

清 麻桐（会員）アメリカ在住

光合成で3ギガトン除去、2ギガトンが海中に溶解、9ギガトンは大気中に放出～二酸化炭素濃度が増加

ここで炭素循環の概念について簡単に説明したいと思います。二酸化炭素は気体なので通常は大気中に存在します。植物は光合成によって、二酸化炭素と水をブドウ糖と酸素に変えます。ブドウ糖の一部は植物のエネルギー源になり、呼吸によって二酸化炭素と水に変換され、大気中に戻りますが、多くはセルロースや炭水化物になり、成長する植物のバイオマス、つまり木の幹や葉になったり、イモのように根や茎に蓄えられます。

植物が枯れて地面に落ちると、土壌有機物として土壌の中に貯留されます。土壌中の有機物は微生物の活動によって分解され、二酸化炭素になって大気中に戻ります。下記の図では陸上の植物しか描かれていませんが、海藻や植物性プランクトンも光合成で二酸化炭素を取り除く非常に重要な働きをしています。これが後述する「ブルーカーボン」です。土壌有機物や海底に堆積した有機物が地中深く埋まり、熱や圧力で長い年月をかけて変性したものが石油、石炭、天然ガスといった化石燃料です。このように、炭素は化学変化を繰り返しながら生物圏、大気圏、岩石圏、水圏をぐるぐる循環します。これが炭素循環です。

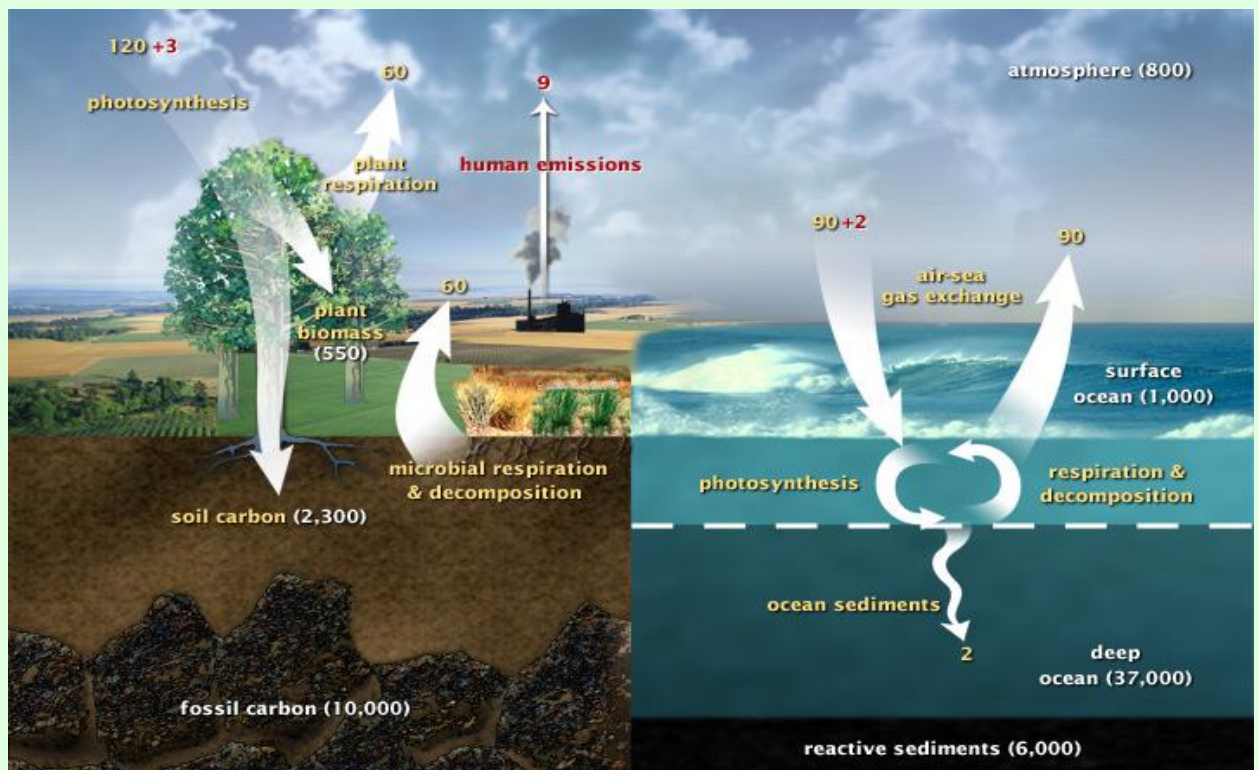


Image:炭素循環の概念図。白字は「炭素保管庫」に貯留された炭素、黄字は「炭素保管庫」間の炭素の移動、赤字は人為的に排出された炭素。単位はギガトン。 12 (NASA)

「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

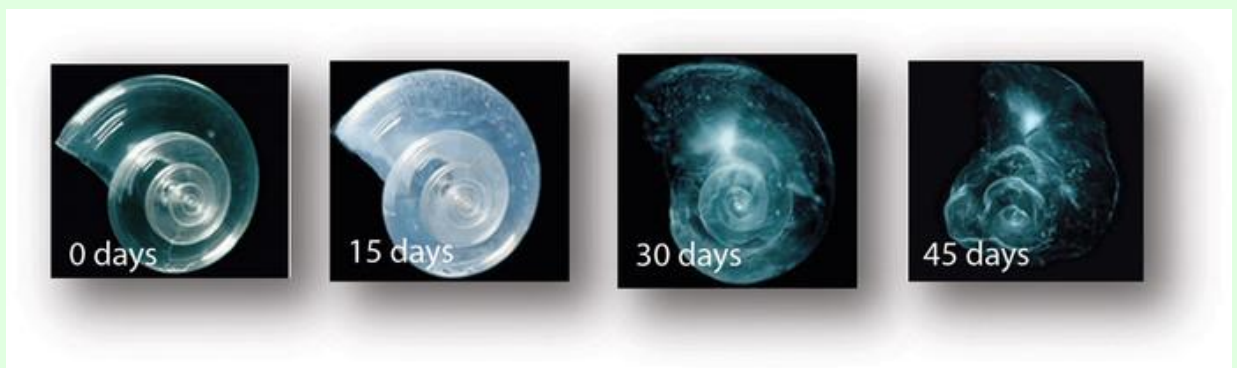
清 麻桐（会員）アメリカ在住

この図を見ると、土壌、岩石、深海などの「炭素保管庫」に貯留されている炭素が大気中の炭素よりも多いことがわかります。赤字で示されているのが化石燃料の利用やセメント製造で人為的に大気中に排出される炭素で、光合成で3ギガトンが植物によって除去され、2ギガトンが海中に溶けますが、9ギガトンが大気中に放出されているので、空気中の二酸化炭素濃度が増え続けています。19世紀半ばの産業革命までは人類が化石燃料を利用することはあまりなかったので、空気中の二酸化炭素濃度は産業革命を境に増え始めました。気候変動を緩和するための努力目標が「産業革命以前」を基準に設定されているのは、このためです。

CO₂が海水に溶け酸性化すると生態系に影響。ブルーカーボンが救世主？

最後に、地球の表面の70%近くを覆っている海の話をしたと思います。二酸化炭素は水に溶ける気体です。二酸化炭素が海水に溶けると、海水中の水と反応して水素イオンを放出し、海の酸性度が上がります。産業革命前と比べて、海の酸性度は30%上昇しており、二酸化炭素の排出量に変化がなければ22世紀までに150%上昇すると予測されています。また、二酸化炭素が溶けると海水中の炭酸イオン濃度が低下します。サンゴ、貝類、甲殻類などは炭酸イオンを海水から取り込むことで、炭酸カルシウムでできた殻や骨格を作って成長するので、酸性化した海ではそれが難しくなります。[海洋酸性化](#)は翼足類のように薄い殻を持つ生き物にとっては特に深刻です。

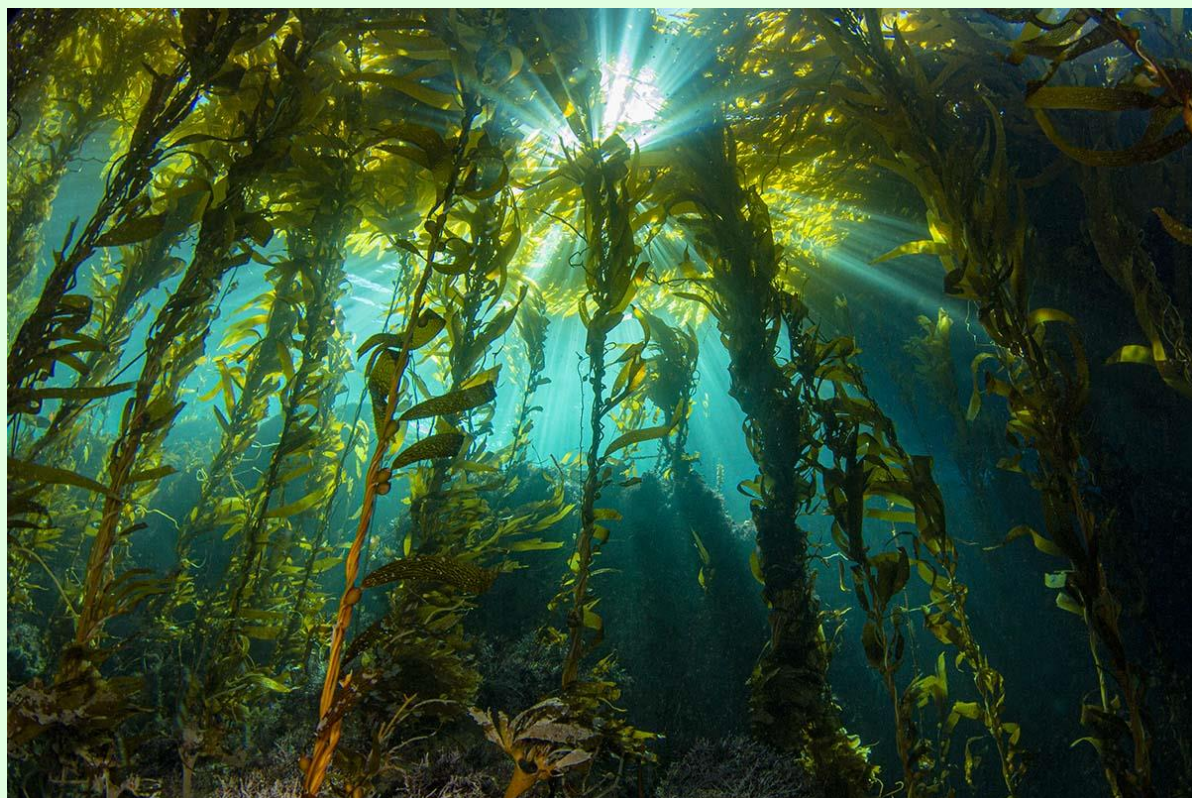
翼足類はクリオネの仲間で、翼のような足を使って泳ぐ小さな貝類で、サバやエビやイカの重要な食料となっています。翼足類を食べる生き物は、私たちが食べるマグロやサケに食べられるので、翼足類が絶滅すれば、海食物網、そして漁業に深刻な影響を及ぼすと考えられます。硬い頑丈な殻を持つカキでさえ、酸性化した海では殻が15~20%薄くなってしまうと予測されています。



Photo：翼足類の殻を2100年の海の状態を模した海水に浸した実験。45日後（右端）には殻がぼろぼろになった。（ナショナル・ジオグラフィック）

「気候危機」の年に、アメリカ東海岸から
海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。

清 麻桐（会員）アメリカ在住



Photo：カリフォルニアのオオウキモの森。ダグラス・クルーグ撮影

一方で、海には私たちが気候変動に対抗するための可能性も秘められています。例えば海洋中に貯留されて大気中に戻らなくなる炭素、「ブルーカーボン」がそれです。オオウキモ（ジャイアントケルプ）の森は同じ広さの陸上の森林の20倍もの二酸化炭素を吸収し、貯留できます。オオウキモは光合成で二酸化炭素を糖に変えて成長します。オオウキモがちぎれて海底に沈むと、オオウキモを構成する炭素は分解されずに海底に留まり、その分大気中から二酸化炭素が減ります。海草藻場やマングローブ、塩沼、サンゴ礁も同じく炭素を隔離・貯留し、津波や高潮の被害から陸地を守る働きもします。

海は今なお未知の部分が多い、巨大で不思議なブラックボックスなのです。



Photo by Linda Ianniello
& Susan Mears

トルン紀美子（会員）ドイツ在住

1988年からドイツ滞在。2006年に国際結婚を考える会のドイツグループに参加し、2009年から国籍法改正の請願係を担当する。ストレス解消法は、趣味のボビンレース。最近、棒針編みのシェットランドレースに出会い没頭中。BREXIT でイギリスからの本物のシェットランド羊の毛糸がドイツで手に入りにくくなり残念に思っている。

環境問題への意識の高まり、しかし本当に全部再利用されているのだろうか？

ここ数年プラスチックゴミの海洋汚染が世界的にも大きく取り上げられています。この問題提起の報道には個人的にショックの気持ちが大きいです。というのもドイツ政府の政策に従って長年ゴミ出しの選別を進んでやっていたのに裏切られるような結果になったと感じたからです。

1998年に緑の党が社民党（SPD）と組んで初めて政権についた頃からドイツ国民の環境問題への関心は高くなり、ビン、缶、ペットボトルの回収や、ゴミ選別のシステムが本格化しました。私のドイツ滞在がようやく10年になる頃で、子供たちも小さく、未来の環境保護のためにと私の環境意識も刺激され、たい肥にできるオーガニックゴミ（生ごみや庭仕事のゴミ）、焼却用の一般ごみ、プラスチック、古紙、ガラス瓶という5種類の選り分けをせつせと始めました。この選り分けたプラスチックは再生されるのだという期待もありました。ただ薄々、こんないろんな種類のプラスチックが本当に全部再利用されているわけではないだろうということは感じていましたが...

海に投棄されているゴミのほとんどが、先進国からのものだとはい！

2011年ごろからドイツでのプラスチックの再利用が90%に近くなったといわれ始めました。ところがこの「再利用」（Verwertung）という言葉には大きな落とし穴があったことに気づきました。このプラスチックゴミを焼却した熱（一度家庭で一般の焼却ゴミから選別したのにまた焼却ゴミに戻される）を利用することも「再利用」であり、また国内で処理できないゴミを他国に輸出して、そこでリサイクリングされているという建前であれば、そのようなドイツ国外へのゴミの輸出ですら「再利用」の統計に加算されているというのです。

ドイツのゴミ選別の実情とエネルギー政策

ソーラーパネル設置、電気自動車購入支援、公共チャージステーション設置急ピッチ

トルン紀美子（会員）ドイツ在住

海上に大きなプラスチックゴミの塊が漂っているとか、海洋生物がプラスチックを飲み込んでしまっているとかの報道を聞いても、まさかゴミ選別システムがある日本やドイツのような先進諸国からのゴミではないだろうとのんきに考えていましたが、そのゴミ輸入国で処理しきれないものはそのまま海に投棄されることがあるというのを聞いて驚きました。

そしてゴミの輸出をしているのは主に環境意識の高いふりをしている先進国であり、海に投棄されているゴミのほとんどがこの先進国からのものだというので、こんなことになるよと分かっていたら最初からプラスチックを選別せずにすべて焼却ゴミのほうに入れてしまえばよっぽど海の環境にはよかったんじゃないかと気が付き、このドイツのややこしい選別システムは、いったい何のためだったんだろうとかなり落胆し憤慨しました。



スーパーマーケットの量り売りコーナー

自前の容器持参し量り売りで購入。「100%再生プラスチック使用」とうたうが果たして？

以前から食料品の買い物には買い物かごを使い、洋服などのショッピングをしてもなるべくプラスチック袋は断っていましたが、それ以来、とにかく消費するプラスチックをできるだけ減らそうと思い、スーパーの野菜を買う時もプラスチックに入っているものは避け、ドイツでは何度も利用可能の小袋も使っているその袋にばら売りのものを入れて買うようにしています。シャンプーもボディーシャンプーも固形のものに替えました。

ドイツのゴミ選別の実情とエネルギー政策

ソーラーパネル設置、電気自動車購入支援、公共チャージステーション設置急ピッチ

トルン紀美子（会員）ドイツ在住

最近はその風を考えるドイツの消費者が増えてきたのか、いろいろなスーパーに、パスタや穀物、豆類、ハーブティー、ナッツやキャンディーなど自前の容器を持っていけて量り売りをしているコーナーも増えました。液体の台所用や洗濯用洗剤なども空の容器を持っていけば買える専門店もあるし、歯磨き粉も錠剤のような形の口の中で噛み潰して使うタイプのももあります。洗面所やトイレ掃除にも、最近我が家では重曹が大活躍です。下手な高額の高圧洗浄剤よりも却って効果的です。店ではシャンプーや洗剤のプラスチック容器に「100%再生プラスチック使用」とうたっている製品も見かけますが、企業によってはうわべだけ環境保護に熱心にみせるグリーンウォッシングの域を出ないところもあるようなので、なるべく買わないに越したことはありません。

我が家でもソーラーパネルの設置。2022年末、原発廃止～ドイツのエネルギー政策に注目



去年の我が家での大きな変化は、定年退職してうちにいるようになった夫が突然ソーラーパネルに興味を持ち、夏に我が家の屋根に取り付けたことです。さらにその電気を使えるようにと、電気自動車にも替えることにしました。

今のところ地方自治体からソーラーパネルの設置には1000€（13万円）、家庭用蓄電バッテリーに1500€（19万円）合わせて2500€、電気自動車の購入には国から6000€（77万円）と自動車メーカーから3000€（38万円）の合わせて9000€（115万円）、更にガレージに電気自動車専用の充電器を取り付ける場合も900€（11万5千円）の補助金が出る政策になっています。

（2021年11月30日時点のおおよそのレート）

ただ電気自動車はまだまだ他の車と比べて高額でもあり、また長距離をアウトバーンで飛ばす傾向の強いドイツ人には、長距離移動の場合度々車を止めて充電しなければならないのでガソリンやディーゼル車と比較すると使いにくいし、電気代もこれからますます値上がりする（ガソリンの値上がりの比ではありませんが）ことを考えると、ソーラーパネルが設置できない、自宅のガレージに専用充電器の取り付けができない、又は借家住まいの人にはなかなか購入条件のいいものではありません。



高速道路に新設されたヨーロッパ最大のチャージステーション。一度に50台以上のチャージが可能。近くにはKFCやIKEA、カフェなどが併設されている。

ドイツのゴミ選別の実情とエネルギー政策

ソーラーパネル設置、電気自動車購入支援、公共チャージステーション設置急ピッチ

トルン紀美子（会員）ドイツ在住

ソーラーパネルからの発電も、夏の間はかなりの発電量があり、自宅のバッテリーに充電してもまだ余りが出て、電力会社に供給できるほどですが、サマータイムが終わり日照時間が減ってくると、とても一日の家庭の電気使用量を補うことができず既成の電力を買う結果になっています。余った電力を電気会社に売の場合は1kwhあたり7セントなのに対し、買う場合は1kwhあたり27セントという条件です。緯度の高いドイツの暗い冬では思ったほどは割が合いません…。夫は「日本は冬に天気のいい地方も多いし、夏もクーラーを使うので使用量が多いだろうし、日本でソーラーパネルを設置するほうがずっと効率がいいだろうね。」とっています。それでも2022年末までに原発を廃止し、2030年までに二酸化炭素排出量を65%削減、2040年までには88%削減すると決めたドイツでは、ソーラーパネル設置や電気自動車購入への支援、公共チャージステーションの設置が急ピッチで進められています。

昨年の選挙で16年続いたメルケル首相のCDU政権も終わり、また緑の党が加わったSPDとFDPとの三党連合政権が発足しました。環境大臣も緑の党の政治家が就任しましたが、同じ党の中でも風力発電を促進し風車や送電線を増やしたい政治家もいれば、その増設によって破壊される自然の保護に懸命な人もいて、さて一体どんな議論が行われていくのかがこれからのドイツの環境政策の注目点です。

【ドイツ】2022年に脱原子力完了～ドイツエネルギー政策のこれまでとこれから
電気事業連合会からのサイト

[【ドイツ】2022年に脱原子力完了～ドイツエネルギー政策のこれまでとこれから | 電気事業連合会 \(fepc.or.jp\)](https://www.fepc.or.jp/)

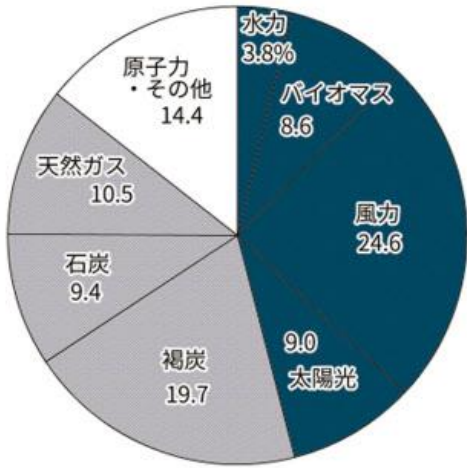
	脱原子力政策の推移	原子力法による閉鎖規定		備考
		既存炉	新設	
1998	脱原子力政策着手	なし	なし	
2002	脱原子力を法制化	<ul style="list-style-type: none">各炉に生涯発電電力量の上限設定（32年分相当）閉鎖年限の指定なし	新設禁止	2003年：1基閉鎖 2005年：1基閉鎖
2010	脱原子力を後ろ倒し	<ul style="list-style-type: none">2002年原子力法の生涯発電電力量に上乗せ（平均12年の運転延長可能に）閉鎖年限の指定なし	同上	2010年末時点の 運転基数：17基
2011	福島第一原子力発電所事故 脱原子力を再び加速	<ul style="list-style-type: none">運転延長撤回各原子炉の閉鎖年限を指定、2022年までに全炉閉鎖	同上	2011年：8基閉鎖 2015年：1基閉鎖 2017年：1基閉鎖 2019年：1基閉鎖 ↓ 2020年末時点の 運転基数：6基

ドイツのゴミ選別の実情とエネルギー政策

ソーラーパネル設置、電気自動車購入支援、公共チャージステーション設置急ピッチ

トルン紀美子（会員）ドイツ在住

2019年のドイツの電源別発電量



(出所) フラウンホーファーISE

ドイツ再生エネ46%、初めて化石燃料を上回る 19年 欧州の「脱炭素」裏付け 日経新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO54032220U0A100C2000000/>



主要国の一次エネルギー消費構成と自給率（2015年）

<https://www.jepic.or.jp/data/g01.html>

REN21「自然エネルギー世界白書2021」公表

<https://www.iseip.or.jp/archives/library/category/renewables-global-status-report>

国際家族＝地球家族としての環境活動

西荻窪を震源地に、これからもっと仲間を増やして運動を続けていきたい。

ブランシャール明日香（非会員）東京在住

エコロジーカフェ カワセミピレット 経営

長崎県出身。カナダで社会人類学を学ぶ。福島原発事故以降、環境問題に興味をもち2019年より西荻窪でエコロジーカフェ・カワセミピレットをスタート。カフェを拠点に環境活動を継続中。フランス人パートナー、ティーンエイジャーの娘2人との4人暮らし。

私にとっての環境活動は、豊さを享受した世代の贖罪であるとの認識

国際家族という単語があるのだとすると、私はその中で二つの感覚を軸として環境問題へ取り組んでいるように思う。

一つは、地理的、物理的な距離の横軸だ。国際結婚をすると、家族や親戚の在住地が数千キロ離れているだけでなく、家庭内の言語や生活習慣も遠い国のそれに適応するという「アウェイ感」及び「エクソフォニー感」*1（母語の外に出た状態を指すことば。参考エッセイを参照）を日常に内在するようになる。

もう一つは、国際結婚をして子どもを授かったことで、遺伝子的、文化的にかけ離れていた2人の人間（自分とパートナー）が背負う過去を現在でシャッフルして未来へ引き渡している、という時間軸（縦軸）を意識するようになった。

その横軸と縦軸を、気候危機の時代にマトリックス的に重ねてみると、私の場合、鮮明に見えてくるミッションが「人類が引き起こした環境問題改善に尽力する」だった。



国際家族＝地球家族としての環境活動

西荻窪を震源地に、これからもっと仲間を増やして運動を続けていきたい。

ブランシャール明日香（非会員）東京在住

気候変動はSDGsウェディングケーキの底辺を瓦解するだけでなく、2020年生まれの子供たちは将来、1960年生まれの祖父母世代に比べ自然災害を最大で7倍多く経験するといった「世代間」格差*2が生む。また、現代の資本主義のグローバル化によって負の影響を受けている世界中の場所や人々を指す「グローバルサウス」、ジェンダーなどの分断と格差を助長する。このような状況下、私にとって環境活動は豊さを享受してきた世代の贖罪であると同時に、この惑星のメンバーとして必要な活動だと認識している。

「食べて、飲んで、おしゃべりして、地球に優しくなる。」 カフェから環境キャンペーンへ展開

カナダへの留学を経て、世界を旅し、フランス人と家庭を築いた自分の経験が何かの役に立つのか、という問いを立てる時、地球の住民（全生態系）に持続可能な未来を引き渡していくミッションに貢献するため、多角的な視点で遠方まで見渡せる双眼鏡とフットワーク軽く走れる靴をもらった、という答えが浮かぶ。



その双眼鏡と靴を装着して私は東京の西荻窪で小さなカフェを運営している。

自然素材の建物、プラスチックフリー、地元野菜を使ったプラントベースの食事（左写真）、生ゴミコンポストや雨水タンク、ソーラーパネル、エシカル雑貨販売、関連図書の貸出、など店内で自然に店のコンセプト「食べて、飲んで、おしゃべりして、地球に優しくなる。」を感じられる工夫を凝らして、カフェからの地域の環境意識の底上げを目指している。

加えて、前述したミッションを実現するために定期的に環境キャンペーンも展開している。昨年より「西荻脱プラ大作戦」「西荻ゴミゼロ大作戦」「西荻アルマカ大作戦」（右写真）という三つのキャンペーンを各2ヶ月の期間で開催した。それぞれのイベントは、専門家によるセミナー、読書会、ワークショップ、ゴミ拾い、上映会、など多岐に渡った。直近の「西荻アルマカ大作戦」*3とは「アルものでマカナウ」という意味で、DIYやリペア、服の交換会など体験型のイベントを多く取り入れた。



国際家族＝地球家族としての環境活動

西荻窪を震源地に、これからもっと仲間を増やして運動を続けていきたい。

ブランシャール明日香（非会員）東京在住



ハロウィン時には、「プラスチック容器包装削減を訴える市民のパレード」（上写真）を執行し、24人でスーパーに要望書を提出し駅前で声をあげた。これまでオンライン・オフライン延べ300人以上を迎え、地域のエコ仲間を増やし他の街の環境グループや環境NGOとの繋がりをつくり、「グローバルに考え、ローカルで行動する」を実践している。

今後の大作戦では、杉並区のゼロカーボンシティ宣言運動や次期参議院選挙にインパクトを与えるような市民運動への発展や西荻窪の他の市民グループとの連携も図りたい。

「人と違っていいから自分の意見を持つ」～あきらめずに声をあげる

このように、小規模ながら私が市民活動を続けているのは、やはり海外（特に欧州）の市民運動や環境意識の高さを目撃していることが大きい。例えばフランスでは民主主義の基本理念に則り主権者である市民のデモやストは日常茶飯事である。「人と違っていいから自分の意見を持つ」、制度に不満や疑問があれば「通りに出て訴えよ」という考え方に共感している。異なる社会風土との比較認識が、「自分たちも変わる」という希望への原動力となっている。

国際家族＝地球家族としての環境活動

西荻窪を震源地に、これからもっと仲間を増やして運動を続けていきたい。

ブランシャール明日香（非会員）東京在住

とは言え、日本では既得権益や縦割り制度に阻まれ、市民からの突き上げはソフトで、国や企業がシフトチェンジするのはいつの日かと途方に暮れる。それでも私は件の双眼鏡と靴を身につけ外へ向かう。理由は単純だ。我々の経済成長追求によるダメージを真っ先に被るのが貧困国や弱い立場の人々や動植物、そして未来を担う若者たちであるのはおかしいと思うからだ。更には「人新世の資本論」*4著者、斎藤幸平氏の指摘通り、そういった転嫁＝「外部化」は既に破綻し、我々の日常にも脅威が迫っているという危機感を共有しているからだ。

「知足＝アルものでマカナウ」国境や言語、文化の枠を超え人類がよりよき未来を！

環境活動家谷口たかひさ氏の、「我々は地球規模の危機を目撃する最初の世代であり、それを止めることのできる最後の世代。」*5という言葉は説得力がある。

では何をするのか。まずはベクトルを、人ではなく自分に向ける。海外へ接点を持つ一市民としてできることから行動する。ヒトは伝達によって学び合い、想像力によって共感し、助け合える生き物だと信じているからだ。究極的には、国際云々と言う以前に地球家族の一員として、ヒトもまた生態系の一部に過ぎないことに立ち返り、「知足＝アルマカ」精神をみんなで思い出しながら生きていきたい。

今、ヨーロッパの若者達から始まった持続可能な社会づくりという新しいねりが日本にも静かに轟き始めている。人類史的にみると、それは「進化」だと思う。西荻窪を震源地に、私もこれからもっと仲間を増やして運動を続けていきたい。国境や言語、文化の枠を超えて人類がそれぞれの場所でよりよき未来を創ろうとする連帯が実現する時、私のマトリックスも時代のうねりと合致し、地球家族の一員として活かされるのだろうと思う。

参考資料：

*1 多和田葉子『エクソフォニー母語の外へ出る旅』（岩波書店 2012/10/16）

*2 「災害経験に世代間格差」（日本経済新聞・社会面 2021/11/21）

*3 ブランシャール明日香【西荻アルマカ大作戦】PR動画

<https://youtu.be/aatqD1rMSoA>(2021/11/25)

*4 斎藤幸平『人新世の「資本論』（集英社 2020/9/17）

*5 谷口たかひさ「地球を守ろう お話会」（2021/04/09）

環境活動家 谷口たかひさ | 「地球を守ろう！今、私たちができること」 - YouTube



上勝のゼロ・ウェイストセンター視察 KAMIKATSU ZERO WASTE CENTER

小さい町だからこそ実践できた環境問題解決方法をレポートします！

湯浅佳代（会員）大阪在住

徳島県出身。関係国は米国。過去NYの製菓企業での勤務経験。日本での食品添加物や農薬使用に関心があり。娘がJAIFのロゴ並びにHPの表紙デザインを制作。

郷里の徳島へ～「ゼロ・ウェイスト宣言」リサイクル率 なんと**80%**達成。



[上勝町とあらゆる事業について | 国立
大学法人 徳島大学 \(tokushima-u.ac.jp\)](http://www.tokushima-u.ac.jp)

徳島県にある人口1500人あまりの小さな町、上勝がゴミの処理及び再利用政策で成功し、世界から関心が持たれています。

上勝は日本で初めて自治体として、前町長である笠松和市氏が2003年ゴミ焼却をゼロにする「ゼロ・ウェイスト宣言」をし、それ以降3R (Reduce, Reuse, Recycle)を実行しています。2019年のリサイクル率では80%で全国2位を誇っています。国内の自治体、教育関係、環境問題に関心がある機関、メディア等からの視察のみならず、BBC等海外メディアからの視察もあるそうです。

今回郷里である徳島に行く機会があり、思い切ってバスならJR徳島駅から一時間半ほどの山奥の町に行くことにしました。視察に当たり、あるご縁で前町長の笠松氏が案内をして下さることになりました。上勝は、高齢者が彩（いろどり）農業（刺身とか日本料理の飾りに使われる葉、花類を都会に出荷）で、かなりの収益を上げている事でも、過去全国的に有名になりましたし、上勝晩茶は世界でも珍しい乳酸発酵茶として人気がでてきました。

上勝のゴミと行政の歴史～野焼き処理場脱却から現在は **13種類45分別**へ

85%が山林である上勝は日比ヶ谷という場所を、産業ゴミのおがくずや木の皮の廃棄場及び家庭ゴミの野焼き処理場としていました。原則燃える物は自宅で焼却し、そうでないものは年三回の粗大ゴミ収集時に出すことになっていましたが、それが段々と守られなくなり、次第に住民が日比ヶ谷にタンス、家電、タイヤ等大型ゴミを捨て、町外からのゴミもこっそり持ち込まれ、ゴミから発火する山火事も多く発生し、監視員を一人置いてましたが、野焼き処理が困難になってきました。

上勝のゼロ・ウェイストセンター視察

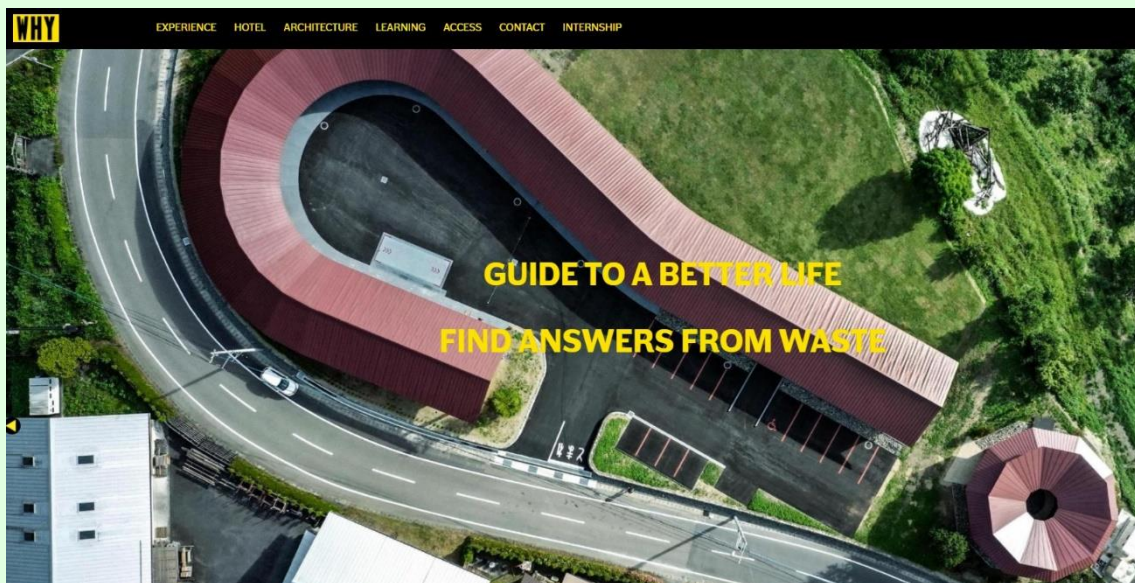
小さい町だからこそ実践できた環境問題解決方法をレポートします！

湯浅佳代（会員）大阪在住

1994年にリサイクルタウン計画を策定。家庭用電動生ごみ処理機を各家庭に設置できるよう補助金を出し、町も小型焼却炉2基を設置しました。焼却ゴミを減らす為、リサイクルできそうな種目と引き取り先の確保を計画して、22分別をスタートさせました。収集車で各戸回収でなく、ゴミステーションに町民自ら運び込む形にしました。いきなり大量の分別を求められ住民の反発もかなりありましたが、集落ごとの説明会等の地道な話合いが進められました。

2000年のダイオキシン類対策措置法が公布され1基が基準を満たさない事から、思い切って2基を停止し、2001年から33分別にし、ゴミステーションに毎日持ち込みを可能にしました。現在は45分別になっています。2003年に町長だった笠松氏が、焼却や埋め立てゴミの処分を最大限にたくす努力をするという「ゼロ・ウェイスト宣言」をおこないました。その後世界の情報を集め、国内外に考えを広めていく母体、NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー（略語ZWA）が創設されました。笠松氏が現理事長です。

現在の消費社会への疑問「？」屋根のゼロ・ウェイストセンター



[上勝町ゼロ・ウェイストセンター \(why-kamikatsu.jp\)](http://why-kamikatsu.jp)

今回私は、2020年にZWAの理念を体現するため新設されたゼロ・ウェイストセンターを訪れました。このセンターの建築は空中から見ると屋根の形が「？」マークになっており、この施設を通して現在の消費社会に疑問を持ってほしいとのコンセプトがあります。

上勝のゼロ・ウェイストセンター視察

小さい町だからこそ実践できた環境問題解決方法をレポートします！

湯浅佳代（会員）大阪在住

センターは野外の屋根付きゴミステーション＝ゴミ分別場所とそれに繋がる家屋に分かれています。その横にホテルがあります（屋根の形が？マークの下の部分）。家屋の建築の窓はすべて、廃屋から取り出された窓が利用されています。この家屋部分には不用品を陳列したおしゃれな都会にあるような「くるくるショップ」と名づけられたリユース（再利用）ショップがあります。不用品は町民だけが持ち込むことが出来ますが、ダダで誰でも持ち帰ることが出来ます。私も4点頂きました。

くるくるショップ



また、「くるくる工房」という名のリメイク専門店があります。古布とか縫製に向く素材を再利用して作られたバッグ、シャツ、エプロン、小物等の販売しており、この店の人気作品は鯉のぼりを使ったバッグ等の作品らしいです。リメイクは主に高齢者の仕事となっており、資源を再利用する目的だけでなく、高齢者の生きがいにもなっています。また家屋部分にはシェアオフィスやコミュニティスペースもあり、ゴミに関連する施設が地域住民の交流の場にもなっています。

ゴミステーションは、プラスチック、ビン、缶類を住民が洗って持ち込んでいるので、ゴミ集積場特有の臭いは全くありませんでした。生ごみ処理は各自コンポストで処分する方針もゴミの臭いがない理由でしょう。ですから、こういう多機能を持ったセンターで快適な時間が過ごせると思いました。



くるくる工房

上勝のゼロ・ウェイストセンター視察

小さい町だからこそ実践できた環境問題解決方法をレポートします！

湯浅佳代（会員）大阪在住

ゴミステーションにおけるゴミ処理システムとは。 「ちりつもポイント」の導入。

収集車はなく、生ごみは各自でコンポストなど使い処理。その他のゴミはステーションに設置されたゴミ箱に自分で入れる。13品目45分別をするようになっている。プラスチックは洗って綺麗なものと、油等汚れたものは別な箱に入れる。プラスチックもペットボトル用箱、食品包装で使用されたもの等の箱、加工してある紙は、再利用できるチラシ類と違う分類の箱に入れる。ビン類の色が着いているかないかで箱が違う。細かくどのカテゴリーにはいるゴミか自分で判断して、箱に入れるシステムです。

そして各ゴミ箱には、このゴミは買い手が量単位で買ってくれる時の数値化した収入（町の財源になる）記載があります。同時にあるゴミは量単位で処分を頼む時のコストを数値化した（町の出費になる）記載があります。それで住民はゴミのコストが理解できます。同じゴミでも、加工紙とそうでないゴミ等、家で選別するのに面倒なゴミがあり、適当に箱に入れる傾向のゴミがあるので、そのゴミを特定化して、そのゴミに関しては常駐している係の人に仕分けを見せて、ポイントをもらう「ちりつもポイント」を導入したら、すごく改善されたとのこと。貯まったポイントは日用品に交換されます。尚高齢者等、センターまでゴミを持ってこられない住民は、有料でいつでもピックアップできるようにしています。



ゴミの分別箱：金属製キャップの横の青色ラベルの数字はキログラムあたりのゴミ売却収益を表示。プラスチック製キャップの赤色ラベル数字は廃棄ゴミを引き取ってもらうキログラムあたりのコストを表示。

上勝のゼロ・ウェイストセンター視察

小さい町だからこそ実践できた環境問題解決方法をレポートします！

湯浅佳代（会員）大阪在住

体験施設ホテルWHY、クラフトビールと食。 移住者増加へ。



廃棄窓を再利用した、上勝町
ビール工場に併設のバー

このセンターには宿泊体験施設コテージ風[ホテルWHY](#)が併設され、チェックイン時にセンターツアーがあり、チェックアウト時には自分のゴミを分別して箱に入れる体験をします。中の家具類は不用品のソファ等を利用してしています。

今回の視察場所はゴミステーションだけでなく、地域特産の柚香（ゆこう、柑橘類）の果汁を取った後、廃棄されていた皮や地域農産物を利用した[上勝クラフトビール](#)を作っている工場、町民の憩いの場であり地域物産販売を行っているレストランにも立ち寄りしました。450円の人気定食を食べました。全部地元の農産物の献立で肉類を使っていませんが、野菜だけでも最高に美味しかったです。いま、上勝町はサステナブルの町として注目を浴びており町外移住者も増えつつあります。

講談社発行の[FRaU S-TRIP](#)徳島 2021年12月号の雑誌のカバーは上勝の景色であり、特集記事が掲載されています。

ゴミ不法廃棄改善のための「資源回収法」の創設を！

次に今年のZWA総会での緊急決議案の紹介をします。ゴミ問題を根本的に解決するため、消費者が不要になった物は、全て製造業者が有価で回収し、有価で回収できないものは罰則を持って製造販売を禁止する法律「資源回収法」の創設を国に対し強く求める決議案を提出する予定です。

例を上げれば、上勝町のような過疎地帯に粗大ごみとか電気製品を捨てる人が後を絶ちません。それは電化製品の廃棄には3,000円のリサイクリング料を消費者が払うようになっています。こっそり捨てた方が自分の損にならないわけです。これを持ち込みで3,000円業者から受け取る制度にすると、ゴミ不法廃棄は改善されるとの提案です。

今回の視察で日本の持つ問題点が見えてきました。特に私が気になったのは次の二点です。

上勝のゼロ・ウェイストセンター視察

小さい町だからこそ実践できた環境問題解決方法をレポートします！

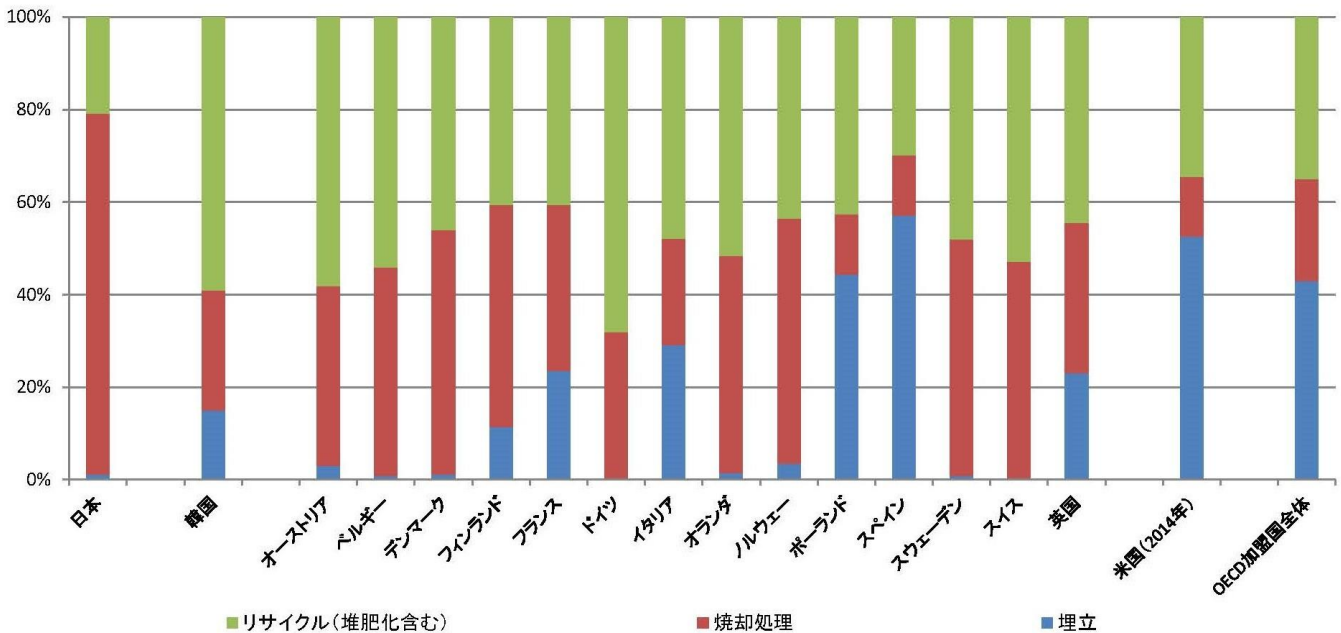
湯浅佳代（会員）大阪在住

① 日本は世界一焼却量が多い。

ということは固形のゴミを気体のゴミに変えているだけだ。理由は焼却温度を800℃以上に保たないと補助金がでない制度になっているため。生ごみには燃料の重油や灯油が大量に必要となり、ついでに分別したプラスチックも燃やしている。補助金制度の在り方を変えないと世界一焼却処分量が多い現状は変わらない。人口が多い地域でも、生ごみ対策として庭のある家には出来るだけコンポスト設置を奨励する行政指導が必要ではないかと思う。

日本はゴミ焼却世界一（参照データから読み取れる日本の焼却量）

OECD加盟主要国における一般廃棄物の処理方法比率(2015年)



【出展】 [004_04_00.pdf \(meti.go.jp\)](#)

我が国は一般廃棄物の最終処分の比率が低く、リサイクルされる比率は高くない。

■我が国は、OECD加盟主要国の中でも一般廃棄物を焼却処理する割合が極めて高く、埋立処理率が極めて低いという特徴がある。

■一方、欧州や米国では堆肥化等リサイクル処理の割合が相対的に高く、米国や一部の欧州主要国では埋立処理の割合が依然として高い傾向にある

② 近年肥料をプラスチックでコーティングし、徐々に肥料を排出できる製品が、高齢化が進み、人手不足の米農家に人気があり、農地がマイクロプラスチックで汚染されている問題がある。日本全体の耕田面積を考えると懸念すべき傾向である。

以上、短い滞在でしたが、小さい町だからこそ出来る実験的試みから環境問題解決のヒント、人のゴミに関する意識変化（住民がゴミを捨てる行為を通じて、ゴミ処理の経済コストを知り、ゴミ資源を生かす学びの場になっているセンターのシステムにより）、その意識変化を促す行政の在り方など学ぶものが沢山ありました。またなんと、人気の旅行ガイドLonely PlanetのBest in Travel2022で、「上勝町ゼロウェイスト・タウン」も取りあげられました。みなさまにもチャンスがありましたら是非訪れていただきたいと思います。

JAIF会員の朴沙羅さんの著作『ヘルシンキ生活の練習』

(筑摩書房, 2021年11月) 自著紹介文を寄稿していただきました。



—私は日本で生まれて、日本国籍をもつ在日コリアンだ。父が韓国人、母が日本人なので「ハーフ在日」と言うのが正確かもしれない。(略) 私は俄然、「外国」に住もうと思った。日本でも韓国でもない国に住みたい。(略) 大学で社会学を学んだら「問題なのは私が「私は何者なのか」と悩まなければならないような状況の方ではないか」と気づいた。— (本書より)

朴沙羅 (ぱく・さら) 1984年、京都市生まれ。専攻は社会学 (ナショナルリズム研究)。ヘルシンキ大学文学部文化学科講師。著書に『外国人をつくりだす』 (ナカニシヤ出版) 『家の歴史を書く』 (筑摩書房)、共著に『最強の社会調査入門』 (ナカニシヤ出版)、翻訳に『オーラルヒストリーとは何か』 (水声社)

筑摩書房 ヘルシンキ 生活の練習 / 朴沙羅 著 (chikumashobo.co.jp)

2020年2月から、私はヘルシンキで仕事をするようになりました。それまで、フィンランドにこれといった印象はなかったのですが、いざ子どもたちと引越してみると、移住の手続きから子どもたちの保育園・プレスクール入園/入学手続き、住居探しと慌ただしく手続きを進める中、新型コロナ危機まで始まってしまいました。

でも、大変な中にも面白いことはたくさんあります。何より、日本でならこうなるはずだ、という私の思い込みがどんどん覆されるのは、この2年間で最も面白く、また困ることでした。そして、ヘルシンキで新たに知り合った人々から聞く様々な言葉は、私がこれまで意識していなかった、自分を苦しめてしまう思い込みを、ある程度は解除してくれた気がします。日本で仕事や子育てをしている人や、日本の生活を息苦しく感じている人々にも、私がヘルシンキで聞いた、全く違う考え方をする人々が発した、自分たちを苦しめない言葉を伝えたいと思いました。子供達は京都とヘルシンキの生活を比較したり「どちらがいいかな」などと考えたりすることなく、与えられたその状況をただ受け入れているように見えます。彼らと一緒に、この2年間で過ごしたのは、私にとって苦労より実りの多いことでした。

「日本最高！日本を批判するやつは反日サヨク！」と言ったり書いたり、あるいは逆に「日本最悪！フィンランド最高！」と言ったり書いたりするのは、ある意味で自分たちと違う人々や社会を自分たちから切り離し、自分にとって都合のいいところだけ消費する振る舞いのように思います。だから、できればその違いをただ違いのままに、観察して書きたいと思いました。もちろん、私は自分の体験や知識からくる思い込みと偏見から無縁ではられません。ですが、そのような知識や思い込みも含めて観察の対象に含めるのは、ある程度までなら可能ではないかと思えます。

フィンランドでは人々の服装からイベントまで地味で、人々は静かで、ほぼ森と湖しかありません。差別も戦争もあり、税金が高いため私の手取りはかなり減りました。誰も忖度してくれない、厳しい社会でもあるように感じます。でも、できればもう少しのあいだ、ここで日本との違いを観察しながら過ごしていきたいものです。

★ 2021年10月~12月のJAIFイベントを振り返る ★ イベント係

◎ JAIF会員の仕事とキャリア

10月24日（日）21：00～ オンライン（欧州向け） 17名参加

10月31日（日）10：00～ オンライン（北米向け） 13名参加

国内外で活躍されている会員の皆さんにご自身のお仕事やキャリアについてお話していただいた。ご自分でビジネスを営んでいる方、大学教授や公的機関での研究員の方、IT企業に長年お勤めになって来た方などの貴重なお話を伺った。

◎ 第4回海外会員向けオンラインお茶会（親睦会）

11月19日（金）ハワイ10時、PST12時、EST15時、英20時、独21時

日本時間11月20日（土）5時から 14名参加

メインピックは「国際介護、国際相続：突然日本へ行く必要が！？」

コロナが収束するまでは帰国しないだろうと思っていたが、親の死により突然日本に行くことになった方、お母様がお亡くなりになったが、国籍の問題により帰国できなかった方。また、無事年末年始に帰国することができた方などそれぞれの渡航事情を共有した。

◎ 新大久保国際タウン散策（東日本イベント）

11月28日（日）11：00～ 9名参加

緊急事態宣言も解除され、久々に集まることが出来た。台湾の寺院、「東京媽祖廟」を台湾旅行気分で参拝した後、グルメ穴場スポット「イスラム横丁」の散策。最後はイケメン通りを歩いて韓国料理の昼食を楽しんだ。案内役は会員のカマーゴさん、ありがとうございました。

◎ 朴 沙羅さんを囲んでの親睦会（西日本イベント）

12月9日（木）キッチンハリーナにて 5名参加

フィンランド在住の会員、朴沙羅さんが11月中旬に「ヘルシンキの練習」という本を出版され、帰国し京都に滞在だったので、出版記念もかねて親睦会を開催した。（会員限定）

◎ オンライン国籍法勉強会

12月11日（土）21：00～ オンライン（欧州向け）

会員9名、非会員22名。合計31名参加

12月12日（日）8：00～ オンライン（北米・中南米向け）

会員10名、非会員19名。合計29名参加

コロナ禍で海外渡航の難しさが続く中、本人及び配偶者の日本国籍の有無も渡航に大きな影響を与えている。長年、国籍法改正に向けて請願運動に取り組んできた「国際結婚を考える会(JAIF)」では、今回は会員をはじめ非会員の方も参加可能とし多くの方に国籍法に関する正しい知識を得て頂くため、国籍法勉強会を実施した。勉強会でのパワーポイントや資料集をHP「[国籍法勉強会の資料集](#)」のページに掲載。参加できなかった皆さんもどうぞ閲覧してください。



編集後記

Covid 19に脅かされ、日常生活の諸々の自由が奪われてしまった2年が過ぎ、未だに状況は余り変わらないまま、新しい年を迎えました。2022年、年頭に際し、今年こそは以前の普通の生活が戻ってくることを願うのみです。

さて、本号の主題、日常生活におけるごみによる地球の汚染は、昨年世界会議で話し合われた、地球の温暖化、大気汚染と同じように、速やかに対策が迫られている深刻な問題であることは事実です。

地球は誰のものかと問われた時、地球上に存在する様々な生態系に支えられた多様な動植物が共存していることを忘れてはならないと思います。人類のための科学の発達や現代の生活様式の副産物は、もの言えない地球上の人類以外の住人にも大きな被害を及ぼしているのは確かです。

地球の環境破壊の一原因のゴミの問題解決に向けて、今こそ行動をと立ち上がった方たちの活動の様子を知り、私たちはどのような行動をすべきか、考えずにはられません。年末にかけての忙しい時期に、本号のために寄稿いただきました皆様心よりお礼申し上げます。

今年も会報係一同、皆様に興味をもって読んでいただける会報作りに努めたいと思います。
会報係 編集部一同



次回予告 | 会報誌第7号 (2022年04月30日発行予定)

特集：●『国際家族が直面する国籍法』

国際結婚を考える会は創立当初から、一貫して日本の国籍法の問題について取り組んできました。コロナ禍が続く中、外国人に対する日本の厳しい入国制限が国際家族に大きな影響を与えています。外国籍を取得したために日本国籍を失ってしまった方、そして愛する家族の最期に会えなかった人もいます。第7号では、今の国籍法の問題について、様々な角度から取り上げる予定です。ご意見、ご感想、ご投稿もお待ちしています。Jaif.edit@gmail.com

会報係 編集部

カマーゴ・李栄、ハワード弘子、コールマンひろみ、山下牧、小暮朋子